

ITU-R SG5 第9回会合報告書（案）

1 会議の概要

ITU-R SG5は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

ITU-R SG5第9回会合は、2014年11月10日(月)及び11日(火)にスイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。

本会議には47カ国の主管庁等から173名が参加した。日本からは表1に示す12名が出席した。

議長は橋本 明氏(日本)であり、副議長は E.H.ABDOURAMANE 氏(カメルーン)、A.AL-AMRI 氏(サウジアラビア)、L.BUI HA 氏(ベトナム)、R.CASTANEDA ALVAREZ(メキシコ)、J.M.COSTA 氏(カナダ)、M.FENTON 氏(イギリス)、G.OSINGA 氏(オランダ)、V.POSKAKUKHIN 氏(ロシア)、W.SAYED 氏(エジプト)、I.K.SQUARE 氏(ギニア)、L.SUN 氏(中国)である。

今回の会合においては、参考資料1に示す89件の寄与文書について審議を行った。

勧告案については、表2に示すとおり、7件が採択、12件が郵便による採択・承認同時手続に、3件が通常の郵便による採択及び承認手続に、2件が決議 ITU-R 1-6 第11章に基づく編集上の修正が承認された。また、表3に示すとおり、1件の新研究課題案及び1件の研究課題の削除提案が採択されるとともに、27件の新報告案と3件の改訂報告案が承認され、1件が削除された。

勧告文書の採択・承認手続きの手順については、参考資料2のとおり。

表1 SG5会合出席者一覧

氏名	所属
藤沼 広一	総務省 総合通信基盤局 電波部 衛星移動通信課 課長補佐
圓谷 茉里	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
橋本 明	(株)NTTドコモ 無線標準化推進室 室長
新 博行	(株)NTTドコモ 無線アクセス開発部 担当課長
大村 好則	(一社)電波産業会 研究開発本部
小山 敏	(一社)電波産業会 研究開発本部 ITSグループ
大槻 信也	NTTアクセスサービスシステム研究所
久代 雄一郎	NHK
高山 泰一	(株)三菱総合研究所
藤井 智史	琉球大学 工学部 電気電子工学科 教授
宮寺 好男	日本無線(株) 海上機器技術部 船用通信グループ 担当課長
古川 玲	(株)構造計画研究所 電波技術室

表 2 SG5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時手続		通常の郵便による採択及び承認手続		決議 1-6 第 11 章に基づく編集上の修正が承認された勧告	通常の勧告廃止承認手続	解決を求めるため RA-15 で審議		WP への差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂			廃止	新	改訂	新
WP5A	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5B	1	2	1	4	0	3	1	0	0	0	0	0
WP5C	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
WP5D	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
JTG	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	4	2	10	0	3	2	0	0	0	0	0
	7		12		3				0		0	

表 3 SG5 会合での研究課題、報告の採択・承認状況

	採択された研究課題案				承認された報告案		
	新	改訂	削除	WP へ差戻し	新	改訂	削除
WP5A	0	0	1*	0	2	1	0
WP5B	0	0	0	0	6	1	0
WP5C	1*	0	0	0	1	0	1
WP5D	0	0	0	0	2	1	0
JTG	0	0	0	0	16**	0	0
合計	1	0	1	0	27	3	1
	2				31		

*郵便による同時採択・承認(PSAA)プロセスで進められる。

**SG4 会合での最終承認待ち 2 件を含む。

2 審議の内容

2.1 WP5A (IMT を除く陸上移動業務等)関連

(1) WP5A における審議概要

【入力文書:5/180 (WP5A 議長)】

WP5A 議長の Costa 氏から前回 SG5 会合以降に開催された第 13 回、第 14 回 WP5A 会合の概要が Executive Report に基づき報告された。会合参加者数はそれぞれ 203 名、168 名であった。WP5A 議長からの主な報告は、第 2 章に WP の構成、第 3 章 3.1 節で、第 13 回会合において、「Guide to the use of ITU-R texts related to the land mobile service including wireless access in the fixed service」が更新され、第 14 回会合で新たに「Guide on the use of ITU-R texts relating to the amateur and amateur-satellite services」が作成され、いずれも WP5A で承認され、「WP5A website」にアップされたこと、第 3.2 節は SG5 での審議を提案する文書、第 3.3 節～3.8 節は会合結果、第 4 節は 2015 年の次会合の目的である。WP5A からの入力文書は、勧告の改訂案 5 件、新勧告案 1 件、報告の改訂案 1 件、新報告案 2 件、研究課題の削除案 1 件であった。本報告について、特にコメントはなかった。

(2) 勧告

WP5A から、以下の新勧告案 1 件、勧告改訂案 5 件の提案があった。

- ① 勧告 M.2003 「60GHz 帯のマルチプルギガビットワイアレスシステム(MGWS)」の改訂提案【入力文書:5/105】があり、WP5A 議長より、本改訂案は IEEE や Wireless Gigabit Alliance の情報等を追記したもので、今年の 6 月から Web で閲覧可能であり、本会合での採択が提案された。SG5 議長から、ページ毎の確認が行われ、特にコメント等はなく、決議 ITU-1-6 に基づき本会合で採択し、郵便による承認プロセスを進めることが合意された。米国から、今研究会期に承認された勧告の採択に関する 2 年ルール of 明確化のコメントがあり、SG5 議長から、勧告の安定性のための ITU-R 1 の規定では、2 年以内の改訂は原則望まれないとしているが、厳格なルールではなく、補足的な改訂や承認された版に矛盾しない追加情報による改訂は受け入れられるとの説明があった。
- ② 新勧告案「14.5-15.35GHz 帯の移動業務で運用するシステムの特性と保護基準」の提案【入力文書:5/148】があり、WP5A 議長より、WRC-15 AI1.6 を支援するものとの説明があった。SG5 議長により、ページ毎の確認が行われ、イスラエルから、6 ページの干渉保護基準 (I+N)/N は、1.26 から 1.25 に変更すべきとのコメントがあった。SG5 議長から、多くのドキュメントで 1.26 の値が採用されているとし、イスラエルが合意した。また、SG5 議長から IPR 事項がないことが確認された。新勧告案は本会合で合意され、PSAA プロセスを進めることが合意された。
- ③ 勧告 M.1824 「MS のスタジオ外放送 TV、電子ニュース取材、スタジオ外制作のシステムの特性と干渉保護基準」の改訂提案【入力文書:5/150】があり、WP5A 議長より、内容の更新及び新規追加等の改訂が行われたとの説明があった。ロシアから recognizing a),b)を noting に移す提案があり合意された。イスラエルから 9 ページ table の数値の単位について質問があり、独からオフラインで調査するとの回答があった。単位は dBW であった。北ドイツ放送 (NDR) から勧告には必要がないとして、foot note 5 の削除提案があり合意された。改訂勧告案は本会合で合意され、PSAA プロセスを進めることが合意された。
- ④ 勧告 M.1076 「聴覚障がい者のための無線システム」の改訂提案【入力文書:5/151】があり、WP5A 議長より、1994 年の制定から大幅な改訂となり、最新の周波数利用状況が反映されたとの説明があった。ロシアから Annex1 のタイトルをより詳しくしたらどうかとのコメントがあり、WP5A 議長が同意し Annex2 についても同様にした

らどうかとの提案があった。両 Annex のタイトルの修正が合意された。米国から、WP5A 議長に対し、この勧告は全権会議決議 175 が ITU-R 局長に指示したことに合致することに注意を払うべきであり、SG5 は全権会議の要望を適えたことを局長に通知することを助言するとした。ロシアは、米国の助言に賛同し、勧告の recognizing 部分に全権会議の決議を参照することを提案した。WP5A 議長は、この 2 つの提案に合意した。改訂案は本会合で合意され、PSAA プロセスを進めることが合意された。

⑤ 勧告 M.2009「UHF 帯における PPDR の無線インタフェース標準」の改訂提案【入力文書:5/177】があり、ロシアから、RAG で合意された通常用いられる勧告ガイドラインフォーマットにっていないとの指摘があり、WP5A 議長は RA が新しいガイドラインを承認するまで異なるアプローチが有効であると回答した。改訂勧告案は本会合で合意され、PSAA プロセスを進めることが合意された。

⑥ 勧告 M.2015「決議 646 に基づく UHF 帯における PPDR の周波数配置」の改訂提案【入力文書:5/179】があり、SG5 議長により、IPR 事項がないことが確認された。オーストラリアから、recognizing e) の footnote 4) について、UAE 及び Jordan の周波数については、WP5A 会合において留保しており、このセンテンスを削除することが提案された。また、両国の周波数は利用が検討されているだけであり、利用されていない周波数は必要のない情報であること及びこの周波数帯は決議 646 に記載されておらず、WRC においてまず決議 646 に含めるべきかどうか審議すべきであることを付け加えた。英国、ドイツ、スウェーデンが削除に賛成した。UAE は、このセンテンスは事実であり、削除する理由はなく、WP5A 会合で議論の末合意したものであるから、recognizing 部分にこのセンテンスを含めるべきであるとした。米国もこの UAE の主張を支持した。ドイツは、WRC-15 の結果を受け本勧告が再度見直される可能性があるため、ここでこのテキストが必要であるか疑問であるとした。SG5 議長は、まず WP5A 議長に本改訂勧告案が WRC の議題に関係しないことを確認し、footnote は recognizing part にあり情報を提供するものであり他国を拘束するものでないため現状のままとして集約し、不支持国のコメントは、議事録にレコードされることになった。改訂勧告案は本会合で合意され、PSAA プロセスを進めることが合意された。

勧告 M.2015 の議論に関し、コロンビアから改訂勧告には反対しないが、先ほど footnote で承認されたような現在の検討中の多くの周波数帯域があることが、今後の改訂にあたり十分検討されるべきであるとの発言があった。

(3) 研究課題

WP5A から、以下の研究課題 1 件につき、削除の提案があった。

研究課題 ITU-R 230 3/5「ソフトウェア無線(Software-defined radio)」の削除提案【入力文書:5/180 section 3.2.4】があり、WP5A 議長から WP5A はソフトウェア無線の研究課題に関する活動が終了したので、同研究課題を削除することができるとの説明があった。SG5 議長は提案に対しコメントがないことを確認し、研究課題の削除については、決議 ITU-R 1-6 の正式改訂に先だって PSAA を適用できることが RAG において決定されていることから、PSAA プロセスにより事務局が手続きすることを提案し合意された。

(4) 報告

① 改訂報告案 IRU-R M.2227「60GHz 帯のマルチプルギガビットワイアレスシステム(MGWS)」【入力文書:5/104】

WP5A 議長より、更新及びエディトリアルな修正等が行われたものであり、別途 BR に ETSI 標準に関する追加のエディトリアルな情報を送付するとの説明があった。SG5 議長より重要な修正でないことが確認され、特にコメントなく本会合において

承認された。

- ② 新報告案 ITU-R M.[5MHz COMPAT]「5250-5450kHz 帯における固定、地上移動、無線測位業務及び同帯域の航空移動業務とアマチュア業務の無線局との共用及び両立性の分析」【入力文書 5/146】

WP5A 議長より、WRC-15 AI1.4 に関する新報告案であるとの説明があり、特にコメントなく本会合において承認された。

- ③ 新報告案 ITU-R M.[LMS.CRS2]「地上移動業務におけるコグニティブ無線システム」【入力文書 5/178】

WP5A 議長より、報告 M.2225 に続く新報告案の完成であるとの説明があり、特にコメントなく本会合において承認された。

2.2 WP5B (海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務)関連

(1) WP5B における審議概要

【入力文書:5/183(WP5B議長)】

WP5B 議長の Mettrop 氏から、前回の SG5 会合より後に開催された第 13 回及び第 14 回 WP5B 会合の概要が Executive Report(Doc.5/183)に基づき報告された。本会合では 2 件の新勧告案、9 件の勧告改訂案、1 件の勧告の編集上の修正案、6 件の新報告案及び 1 件の報告改訂案を SG5 に提出した。第 13 回及び第 14 回 WP5B 会合の平均参加者数は 239 名であったこと、本 Report 記載の文書番号 5B/185 は間違いで 5B/184 が正しいこと、Global flight tracking についての審議が 2015 年 1 月に WP5B 追加会合で実施されることが言及され、その会議で関連する 2 つのレポート (ADS-B 及び WP4C の ADS-C) についても議論が行われる予定であること等が説明された。

本 Report に関して議長より、5 ページの表の Request Action 欄について、5B/102、106 及び 107 などは Approval ではなくて Adoption であること、RR に参照により引用されている勧告は PSAA による同時採択・承認の手続きがとれないことなどが説明された。

(2) 勧告

WP5B から、以下の新勧告案 2 件、勧告改訂案 9 件及び編集上の修正案 1 件の提案があった。

- ① 新勧告案 M.[ANT ROT]「レーダーの干渉解析のためのアンテナカップリングにおけるアンテナ回転の影響」の提案【入力文書:5/102(WP5B)】について、議長より IPR に関する質問がされ、WP5B 議長より IPR 事項は無いと回答された。修正なく ITU-R 決議 1-6 に基づき本会合にて新勧告案を採択し、郵便による承認プロセスを進めることが合意された。
- ② 勧告 M.1638「5250-5850 MHz の周波数帯で運用する無線標定航空無線航行用レーダーと気象用レーダー間の共用検討のためのシステム特性及び保護基準」の改訂提案【入力文書:5/106(WP5B)】について、本文の修正の他にタイトルは「5250-5850 MHz の周波数帯で運用する無線測位用レーダー（地上に設置する気象用レーダーを除く）と航空無線航行用レーダー間の共用検討のためのシステム特性及び保護基準」と修正提案された。議長より IPR に関する質問がされ、WP5B 議長より IPR 事項は無いと回答された。議長より、16 頁のセクション番号が重複しているのでエディトリアル修正するとされた。エディトリアル修正とともに ITU-R 決議 1-6 に基づき本会合にて勧告改訂案を採択し、郵便による承認プロセスを進めることが合意された。
- ③ 勧告 M.1827「5091-5150 MHz の周波数帯における空港での地上使用に限定した航空移動 (R) 業務局のための技術及び運用要件」の改訂提案【入力文書:5/107(WP5B)】

について、本文の修正の他にタイトルの修正には新たに「ガイドライン」が付加された。エディトリアル修正とともに ITU-R 決議 1-6 に基づき本会合にて勧告改訂案を採択し、郵便による承認プロセスを進めることが合意された。

- ④ 勧告 M.1464-1「2700-2900 MHz の周波数帯で運用する無線測位業務における無線標定用レーダーの特性及び、航空無線航行用レーダーと気象用レーダー間の共用検討のための特性及び保護基準」の改訂提案【入力文書:5/152(WP5B)】について、本文の修正の他にタイトルは「2700-2900 MHz の周波数帯で運用する無線測位業務における気象用以外の無線標定用レーダーの特性及び、航空無線航行用レーダーとレーダー間の共用検討のための特性及び保護基準」と修正提案された。修正なく勧告改訂案を合意し、PSAA プロセスを進めることが合意された。
- ⑤ 勧告 M.1465-1「3100-3700 MHz の周波数帯における無線測位業務として運用するレーダーのための特性及び保護基準」の改訂提案【入力文書:5/153(WP5B)】について、修正なく勧告改訂案を合意し、PSAA プロセスが進められることとされた。
- ⑥ 勧告 M.1463-2「1215-1400 MHz の周波数帯における無線測位業務として運用するレーダーのための特性及び保護基準」の改訂提案【入力文書:5/160(WP5B)】について、エディトリアル修正とともに勧告改訂案を合意し、PSAA プロセスを進めることが合意された。
- ⑦ 勧告 M.1460-1「2900-3100 MHz の周波数帯における無線測位用レーダーの技術及び運用特性並びに保護基準」の改訂提案【入力文書:5/161(WP5B)】について、エディトリアル修正とともに勧告改訂案を合意し、PSAA プロセスが進められることとされた。
- ⑧ 勧告 M.1174-2「450-470 MHz 帯における船上通信に使用される装置の技術特性」の改訂提案【入力文書:5/170(WP5B)】について、ロシアより、*recommends 3* の equivalent operation system を similar operational system に修正する提案がされ、修正とともに勧告改訂案を合意した。本勧告は RR に参照による引用をされているため（PSAA の手続きが取れないので）、ITU-R 決議 1-6 の §10.2.2 及び §10.4 の 2 つのステップによる採択・承認プロセスを進めることが合意された。
- ⑨ 勧告 M.690-2「121.5 MHz 及び 243 MHz の周波数で運用する EPIRB の技術特性」の改訂提案【入力文書:5/175(WP5B)】について、議長より、本勧告は RR に参照により引用されているため、エディトリアル改訂の手続きが取れないことが補足された。特段のコメントなく勧告改訂案を合意した。本勧告は RR に参照による引用をされているため（PSAA の手続きが取れないので）、ITU-R 決議 1-6 の §10.2.2 及び §10.4 の 2 つのステップによる採択・承認プロセスが進められることとされた。
- ⑩ 勧告 M.585-6「海上移動業務における識別の使用と割当」の改訂提案【入力文書:5/176(WP5B)】について、議長より、本勧告は RR に参照により引用されているため、エディトリアル改訂の手続きが取れないことが補足された。特段のコメントなく勧告改訂案を合意した。本勧告は RR に参照による引用をされているため（PSAA の手続きが取れないので）、ITU-R 決議 1-6 の §10.2.2 及び §10.4 の 2 つのステップによる採択・承認プロセスが進められることとされた。
- ⑪ 新勧告 M.[WAIC]「航空機内の無線通信システムの技術特性及び保護基準」の提案【入力文書:5/184(WP5B)】について、エディトリアル修正とともに新勧告案を合意し、PSAA プロセスが進められることとされた。
- ⑫ 勧告 M.1371-5「AIS の技術特性」の編集上の修正提案【入力文書:5/168(WP5B)】について、修正なく勧告の編集上の修正案を承認し、事務局による処理が進められることとされた。

(3) 研究課題

WP5B から、研究課題に対する提案はなかった。

(4) 報告

WP5B から、以下の新報告案 6 件及び報告改訂案 1 件の提案があった。

- ① 新報告案 M.[AUTOMOTIVE RADARS]「77.5-78.0GHz の周波数帯における自動車用レーダーの共用検討のためのシステム特性及び両立性」の提案【入力文書:5/163(WP5B)】について、特段の議論なく新報告案が承認された。
- ② 新報告案 M.[OR GUIDE]「3-50 MHz の周波数範囲における海洋レーダーによるスペクトラム使用のためのガイドライン」の提案【入力文書:5/169(WP5B)】について、特段の議論なく新報告案が承認された。
- ③ 新報告案 M.[WAIC_SHARING_4 200-4 400 MHZ]「4200-4400 MHz の周波数帯における航空機内無線通信システムと既存業務のシステム間の両立性分析」の提案【入力文書:5/171(WP5B)】について、特段の議論なく新報告案が承認された。
- ④ 新報告案 M.[WAIC BANDS]「航空機内無線通信システムへ分配するための航空移動(R)業務 (AM(R)S)、航空移動業務 (AMS) 及び航空無線航行業務 (ARNS) の帯域の検討」の提案【入力文書:5/172(WP5B)】について、特段の議論なく新報告案が承認された。
- ⑤ 新報告案 M.[CHANNEL SOUNDING]「VDES の電波伝搬測定」の提案【入力文書:5/173(WP5B)】について、特段の議論なく新報告案が承認された。
- ⑥ 報告 M.2231「海上移動業務のための RR 付録第 18 号の用途」の改訂提案【入力文書:5/174(WP5B)】について、特段の議論なく報告改訂案が承認された。
- ⑦ 新報告案 M.[OOB S-BAND]「2700-2900 MHz 帯における (気象用) レーダーへの隣接バンドのブロードバンド無線システムからの干渉量の評価」の提案【入力文書:5/181(WP5B)】について、特段の議論なく新報告案が承認された。

(5) その他

- ① BR 局長から SG5 への返信「海洋レーダーデータベースの開発」【入力文書:5/98(BR)】
海洋レーダーデータベースの開発に関する協力要請を前回 SG5 会合で BR 局長宛てに送付し(Doc.5/93 Rev.1)、本年中にデータベースを構築する旨の BR 局長からの返信が紹介され、ノートされた。
- ② Global flight Tracking 【入力文書:5/132(BR)】
WP5B 議長より、全権会議の動向を踏まえて、Global Flight Tracking の研究促進のために WP5B 追加会合を 1 週間実施予定であり、現在会議室の調整を行っていること、そして ITU-R 報告案 M.[ADS-B]は本 Global flight tracking の参照先となることから、この期間中に審議を進めることが言及された。イランより、WRC などに関わるため、どのような動きも正しい手続きに則って行われなければならないこと、そして今回 WP5B (特に WRC 議題 1.5 の審議)に参加できなかったことに対して WP5B 議長を暗に批判しつつ、イランをこの Global flight tracking の審議に参加できるようにスケジュールの調整を行うことを求めた。逆に参加できない会議については認めないとの発言も行われた。一方チェコより、181 の全参加国の日程を調整することは不可能である点から、今回の WP5B 会合で議長の採った措置は正しく、イランの批判は当たらないとの意見が述べられた。議長より、イランとチェコのコメンを議事録に載せることが言及された。
米国からも WP5B の活動に関して Mettrop 議長の尽力を讃えるコメントを議事録に記載する要請があり了承された。

2.3 WP5C(固定業務及び短波帯の固定・移動業務)関連

(1) WP5Cにおける審議概要

【入力文書:5/182 R1(WP5C議長)】

WP5C 議長 Mr C.Glass(US)氏から前回 SG5 会合以降に開催された第 13 回、第 14 回 WP5A 会合の概要が Executive Report に基づき報告された。WP5C 議長からの主な報告は 5/182 Rev1 の 2 章は WP5C の構成、3 章には今回の会合のサマリが記載されている。4 章、5 章は今回の会合中の議論の詳細が記載されている。また、WP5C には沢山の勧告、レポート、研究課題に関する文書が入力されたと説明された。Executive Report の詳細な内容については報告されなかった。なお、WP5C からの審議文書は、勧告の改定案 1 件、勧告のエディトリアル改定案 1 件、新レポート案 1 件、レポートの削除案 1 件、新研究課題案 1 件であった。

(2) 勧告

WP5C から、以下の勧告改訂案 1 件、勧告エディトリアル改定案 1 件の提案があった。

- ① 勧告 F.1778「固定業務における HF 適応システムのチャンネルアクセス要求」の改訂案【入力文書:5/166】があり、議長より勧告修正案の説明が行われた。改訂案は対象を land mobile system へと拡張するものであり、動的な周波数選択に関する箇所に検出要件の詳細を追記し、HF 帯特有の信号について対応できるように拡張したことが説明された。SG5 議長より、1 区切り毎にコメントが無いかの確認が行われ、コメント無く勧告改訂案を合意し、PSAA プロセスを進めることとした。
- ② 勧告 F.1703「27500km の仮想的な参照パスおよび接続で使用される、実環境におけるデジタル固定無線リンクにおける稼働率目標」のエディトリアル改訂提案【入力文書:5/165】があり、WP5C 議長より勧告のエディトリアル改訂案の説明が行われた。改訂提案の 2 ページ目に記載された数式 3.2 に関する、エディトリアルな修正のみであると説明された。SG5 議長より審議が行われ、修正なく勧告のエディトリアル改訂案を承認し、事務局による処理を進めることとした。

(3) 研究課題

WP5C から、以下の新研究課題案 1 件の提案があった。

新課題.[PERFORM]/5【入力文書:5/164】があり、WP5C 議長より説明が行われた。ITU-T との協業が望まれることが説明された。SG5 議長より 1 区切り毎に確認が行われ、別段のコメントが無く、新研究課題案を合意し、RAG 会合での合意事項に従い PSAA プロセスを進めることとした。

(4) 報告

WP5C から、以下の新報告 1 件の提案、既存報告廃止 1 件の提案があった。

- ① 新報告案：ITU-R F.[FS USE-TRENDS] 【入力文書:5/167】があり、WP5C 議長より説明が行われた。SG5 議長より、9 ページ目の Report ITU-R M.[IMT.ANTENNA]; Doc. 5/137 への参照に関しては事務局により新報告番号に修正されると補足説明され、特段の質疑なく新報告案を承認した。
- ② 報告の削除：ITU-R F.2047 【入力文書:5/182 sec 3.4】があり、WP5C 議長より説明が行われた。2004 年に発行された報告であり、新報告 F.[FS USE-TRENDS]により不要となる為であると説明された。特段の質疑なく報告の廃止を承認した。

(5) その他

最後にWP5C議長からWP5CのWG議長、DG議長、参加者への感謝の言葉が述べられた。

2.4 WP5D (IMT) 関連

(1) WP5D における審議概要

【入力文書：5/162(Rev.1) (WP5D 議長)】

WP5D 議長の S.Blust 氏 (AT&T) から前回 SG5 会合以降に開催された第 18 回～第 20 回 WP5D 会合の概要が Executive Report (5/162(Rev.1)) に基づき報告された。主な報告内容は、以下の通りである。

- WP5D からの審議文書は、新勧告案 2 件、勧告改訂案 2 件、新報告案 2 件、報告修正案が 1 件である。
- 地上系の IMT の周波数アレンジメントについて勧告した M.1036 の改訂作業において、移動衛星業務に分配され衛星系の IMT 周波数でもある、1 980-2 010MHz 及び 2 170-2 200MHz を利用する地上系の新たな IMT のアレンジメントの追加に懸念を示す、中国、ロシアからのステートメントが Executive Report の Annex に含まれている。
- 2020 年およびそれ以降の IMT の開発（仮称で“IMT-2020”）に関連し、2020 年に無線インタフェースに関する新勧告案を作成予定である。

WP5D からの議長の説明の後、フランスが勧告 M.1036 の改訂作業について、「1 980-2 010MHz 及び 2 170-2 200MHz の扱いの議論が報告されているが、それ以外にも WRC-15 議題 1.2 に関連して、第一地域向けの 700MHz 帯のチャンネルアレンジメントの検討が重要であり、次回の SG5 に M.1036 の改訂案を提出して欲しいこと、本コメントを SG5 の Summary Record に記録し欲しいこと」、とコメントが行われた。SG5 議長より、「Summary Record に記録する」と回答が行われ、「フランスからのコメントを踏まえて WP5D での検討をしてほしい」旨の要請が行われた。WP5D 議長からは、「WP5D の進捗にもよるが、作業計画では次回 SG5 会合に改訂案を提出予定であること、当初は、今回の SG5 会合に改訂案を提出する予定であったが、本年 10 月の WP5D 会合で様々な議論があり、改訂の作業計画を来年 6 月まで延期したこと」が補足された。

(2) 勧告

以下の勧告改訂案 1 件、新勧告案 2 件の提案があった。

- ① 勧告改訂案 M.1457-11 (地上系の IMT-2000 詳細無線インタフェース)

【入力文書：5/134】

SG5 議長より、「ページ数も多く、中身は WP5D で十分に議論されている内容であるため、5/134 のカバーページのみを確認し、それ以降は個別確認をしない」という審議方法が提案され、異論が示されなかった。カバーページの確認を行い、特にコメントはなく、PSAA プロセスを進めることが合意された。

- ② 新勧告案 M.[IMT.OOBE BS] (IMT-Advanced 基地局の一般的な不要発射特性)

【入力文書：5/108】

- ③ 新勧告案 M.[IMT.OOBE MS] (IMT-Advanced 移動局の一般的な不要発射特性)

【入力文書：5/109】

SG5 議長より、「両文書とも最初の 3 ページだけを確認し、それ以降は WP5D で十分に議論されている内容であるため個別確認をしない」という審議方法が提案され、異論が示されなかった。いずれの文書についても、カバーページの確認を行ったが、特にコメントはなく採択し、郵便投票による承認プロセスを進めることが合意された。

なお WP 5D 議長から、「5/108 については、一部エディトリアルな修正が必要あり、別途カウンセラに連絡する」旨の補足が行われた。

④ 勧告改訂案 M.1579-1 (IMT-2000 移動局のグローバルサーキュレーション)【入力文書：5/110】

文書全体の確認を実施した。キーワードについて、ドイツからエディトリアルな修正が提案され、オフラインで対応することにした。また、勧告事項で参照されている上記③の勧告番号の挿入も、別途対応することにした。それ以外は特にコメントがななく採択し、郵便投票による承認プロセスを進めることが合意された。

(3) 研究課題

WP5D からの研究課題関連の審議事項はなかった。

(4) 報告

① 報告改訂案 M.2039-2 (周波数共用／干渉検討のための地上系 IMT-2000 システムの特性)【入力文書：5/100】

SG5 議長より、「ページ数も多いため一括で承認をしたい」との審議方法が提案され、異論が示されなかった。特にコメントはなく、承認された。

② 新報告案 M.[IMT.FUTURE TECHNOLOGY TRENDS] (地上系 IMT システムの将来の技術トレンド)【入力文書：5/135】

SG5 議長より、「異論なければ、一括で承認をしたい」との審議方法が提案され、異論が示されなかった。特にコメントはなく、承認された。

③ 新報告案 M.[IMT.ANTENNA] (地上系 IMT システムの基地局用能動・受動アンテナ)【入力文書：5/137】

SG5 議長より、「異論なければ、一括で承認をしたい」との審議方法が提案され、異論が示されなかった。特にコメントはなく、承認された。

(5) その他

WP5Dにおける、地上系IMTの周波数アレンジメント勧告M.1036の改訂作業に関連して、SG4からSG5へのリエゾン文書(5/129)、及びWP5DからWP4C(SG5にも同報)への返答リエゾン文書(5/133)の紹介が行われた。本件の扱いについて、イランから、「過去にも共用検討に関連してSG4とは連携して対応してきた経緯があり、今回の件に際しても同様なアプローチで対応すればよい」との意見が示された。SG5議長より、SG4へ送るべきテキストの内容の案が示され、一部イランからの修正を反映後、当該テキストをSG4へ送ることが合意された(4/83、※WP4C及び5Dへも情報として同報)。

また、ITU-T FG Innovation からのリエゾン文書(5/101、※WP5Aからの返答リエゾン文書は5/103)に関連し、WP 5D議長から、ITU-T FG Innovation (SG5へ同報) への返答リエゾン文書(Proposed New Standardization Activities for ITU-T SG 17)(5/99)の内容が紹介された。イランより、「リエゾン文書の一部のテキスト(equitable access of all radiocommunication services)が不適切である、相手方への表現をもう少し穏やかにすべき」とのコメントがなされた。SG5議長より、イランの見解をSummary Recordに記載するとともに、WP5Dの将来の活動では留意して欲しい旨のコメントがなされた。

さらに、WP5D議長から、ITU-T SG13(SG5へコピー)への返答リエゾン文書(Roadmap on IMT and new areas for study under IMT)(5/136)の内容が説明され、情報として了知された。

2.5 JTG 4-5-6-7 (WRC-15 議題 1.1, 1.2) 関連

(1) JTG 4-5-6-7 (JTG) における審議概要

【入力文書：5/127 (JTG 議長)】

JTG 議長の M.Fenton 氏 (英国) から、Joint Task Group 4-5-6-7 (JTG) の活動が 2014 年 7 月の第 6 回会合で完了したことが、Executive Report (5/127) に基づき報告された。主な報告内容は、以下の通りである。

- WRC-15 議題 1.1、1.2 の CPM テキスト案が完成した。
- 16 件の新 ITU-R 報告案を、関連 Study Group に提出している。提出された報告案は、JTG の議論において、いずれの主管庁からも反対がなく、合意されている。
- JTG で合意できなかった検討結果は、暫定新勧告案／暫定新報告案 (PDNR/PDN Report)、あるいは作業文書 (Working document) として、第 6 回の最終 JTG 議長報告に添付されている。
- このうち、第一地域における 700MHz 帯の IMT 端末の不要発射強度に関する暫定新勧告案 M.[BSMS700] は、多くの主管庁が十分に議論された内容であり関連 Study Group への提出を支持したが、他方で、その他の主管庁がその見解に合意していない。
- また、5GHz 帯における地球探査衛星業務 (能動) と無線 LAN の共用検討に関する暫定新報告案 RS.[EESS RALN 5GHz] についても、多くの主管庁が合意を求めたが、他方で、反対の主管庁があり、合意できなかった。

JTG 議長からの説明の後、SG5 議長から、「JTG は専門家が集まって議論をした結果でありそこで合意された内容は尊重すべき。大幅な修正を実施すると、関連する Study Group への審議の影響を与える。編集上の修正については、会議後にセクレタリに直接を連絡してほしい」ことがコメントされた。

(2) 勧告

JTG から合意されて提出された新勧告案はなかったが、JTG で作成された暫定新勧告案 M.[BSMS700] (第一地域における 700MHz 帯の IMT 端末の不要発射強度) について、以下の関連入力文書があり、その取扱いについて審議された。

- 【入力文書：5/138 (フィンランド、フランス、ドイツ、スウェーデン、スイス、オランダ、英国、デンマーク、ポルトガル、ギリシャ)、5/143 (カメルーン、レソト、ナミビア、ナイジェリア、南アフリカ、スワジランド、ジンバブエ)、5/145 (バーレーン、エジプト、UAE)】：
暫定新勧告案 M.[BSMS700] について SG5 での採択を提案。SG5 で合意形成が図れない場合には、RA-15 へ提出して問題解決を図ることを提案。
- 【入力文書：5/139 (ロシア)、5/156 (NDR、ZDF)】：
勧告の範囲が、もともとは隣接業務の保護に関する不要発射強度であったものが、現状の内容は IMT 端末の不要発射強度を示したにすぎず、勧告されている内容を含めて、現状、採択するレベルになっていない。本件については関連 Working Party で検討すべき。

これらの文書の紹介の後、初日の SG5 の会合終了後に、関係者が集まって非公式に議論することがフランスより提案され、非公式会議のコーディネータとして SG5 議長が JTG 議長を指名した。

非公式会議の議論では、ロシアからの入力文書をベースに、JTG で作成された暫定新勧告案 M.[BSMS700] への修正が寄与文書を提出した関係国・機関で議論され、一通りの修正が完了した。

翌日の SG5 会合では、非公式会議での結果を踏まえて、再度議論が行われた。各国から示された、主な意見は以下の通りである。

- フランスを中心に、英国、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、ジンバブエ、UAE がフランスの意見を支持
 - JTG の関係者を交えた非公式会議が実施され、テキストとして一層の安定化ができた。
 - 新勧告案（DNR）のステータスに上げるべき。
 - 採択を行うか、ロシアが採択を留保していることを添えて、RA-15 へ提出して問題解決を図るべき。
- ロシア
 - 非公式議論の対応には感謝するが、今回の作業では不十分であり、引き続き議論が必要。
 - 新勧告案は、Working Party の合意形成を経て提出されるべきもの（下記、イランの意見を支持）で、現状のドキュメントは作業文書のレベル。
 - SG6 との連携した議論も必要。
- イラン
 - 新勧告案は、Working Party の合意形成を経て提出されるべき。
 - 本文書は、WP5D が中心となって議論しつつ、WP6A とも連携して、合意形成を図って Study Group に提出されるべき。
 - まだ時間もあり、問題解決の方法を模索するべき。
- 米国
 - 勧告のスコープは第一地域に限定されることが必要。
 - 文書提出の手続きについては、イランの意見を支持。

最終的に、暫定新勧告案 M.[BSMS700]の扱いについては、今回の SG5 会合では合意形成が図ることができず、以下の対応とすることになった。

- 傘下グループの合意を得ていない勧告案を Study Group で審議することは手続き上も問題があるので、非公式会議で作成された、暫定新勧告案 M.[BSMS700]の修正出力文書を、SG5 の Summary Record に対して、関連主管庁の議論の結果として添付する。
- 関係者と相談しつつ、①WP5D に対して上記の出力文書についての注意喚起を行い、必要に応じて専門的な意見を求める文書、②SG6 に対して、SG5 の議論の状況を伝える文書を、それぞれ作成する（※最終的に、①、②の文書は 1 つのリエゾン文書として、SG6(6/275)、及び WP5D(5D/844)へ提出された）。

(3) 研究課題

JTG からの研究課題関連の審議事項はなかった。

(4) 報告

各新報告案の審議に先立ち、以下の文書が紹介され、以下のアクションとなった。

- 【入力文書：5/141（米国）】
→複数の Study Group にまたがる新報告案について説明を行っているタイトルに付随する脚注テキストの修正提案。SG5 での反対はなかったこととして、最終的な扱いはセクレタリに一任することにした。
- 【入力文書：5/139（ロシア）、5/159（フランス、ドイツ、ルクセンブルク、オランダ、英国）】
→JTG から提出された新報告案については、編集上の修正は除いて、追加修正を

行わないで承認をすべきとの提案。米国からは、新報告案の扱いは、文書個別に審議すべきとの意見が示された。SG5 議長は、個別の新報告案の審議において、これらの文書について考慮するとした。

Study Group 5 のみが所掌する文書

- ① 新報告案 F.[IMT-FS 470-694/698 MHz SHARING] (470-694/698MHz 帯における IMT システムと固定業務のシステムとの共用検討)【入力文書：5/114(JTG)】
特にコメントはなく、承認された。
- ② 新報告案 F.[FS-IMT 1 350-1 530 MHz CO-CHANNEL SHARING] (IMT と固定業務の共用検討)【入力文書：5/117(JTG)】
SG5 議長より、報告のタイトル名に周波数レンジを追記する提案があり反映。さらにコメントはなく、承認された。
- ③ 新報告案 F.[IMT-FS 3 400-4 200 MHz SHARING] (3 400-4 200MHz 帯における IMT システムと固定業務のシステムとの共用検討)【入力文書：5/120(JTG)】
特にコメントはなく、承認された。
- ④ 新報告案 F.[IMT-FS 4 400-4 990 MHz SHARING AND COMPATIBILITY] (4 400-4 900MHz 帯における IMT システムと Point-to-Point の固定業務のシステムとの共用検討)【入力文書：5/121(JTG)】
特にコメントはなく、承認された。
- ⑤ 新報告案 F.[IMT-FS 5 925-6 425 MHz SHARING] (5 925-6 425MHz 帯における IMT 屋内スモールセルと固定業務の無線局との共用検討)【入力文書：5/122(JTG)】
特にコメントはなく、承認された。
- ⑥ 新報告案 M.[AMT-IMT.SHARING.L-BAND] (1 429-1 535MHz 帯における IMT システムと航空移動テレメトリシステムとの共用検討)【入力文書：5/125(Rev.1)(JTG)】
入力文書 5/155 (エリクソン他)により、本新報告案で使用されている IMT の共用検討パラメータが JTG での合意 (JTG 議長報告に含まれるパラメータ一覧) に準拠していない旨の追記を行う提案が行われた。スウェーデン、カナダ、WP5D 議長が当該追記の有用性について理解を示したが、ロシア、英国、ルクセンブルク、フランス、及び JTG 議長が JTG で十分に議論された内容であるとして追記への反対を行った。なお、米国は Annex 4 がパラメータに準拠していないとの指摘は間違いであること、それ以外の Annex に対する追記はこだわらないとの意見であった。最終的に SG5 議長より、文書 5/155 で指摘された内容を SG5 の Summary Record に追記しつつ、新報告案本体への修正は行わないとする収拾案が示され、さらなるコメントはなく、承認された。

→ 以上の 6 つの文書については、Study Group 5 での承認を持って、ITU-R 報告として発行されることになった (①Report ITU-R F.2331、②Report ITU-R F.2333、③Report ITU-R F.2328、④Report ITU-R F.2327、⑤Report ITU-R F.2326、⑥Report ITU-R M.2324)。

Study Group 5 と 7 が共同で所掌する文書

以下の各文書の審議に先立ち、SG7 から JTG 出力に関する審議結果 (いずれも無修正で承認) を伝えるリエゾン文書 (5/130) が JTG 議長より紹介されたが特にコメントはなかった。

- ⑦ 新報告案 RS.[EESS-IMT 1.4 GHz] (1 400-1 427MHz の地球探査衛星業務 (受動) のシステムとの両立性検討に関わる 1 375-1 400MHz 及び 1 427- 1452MHz の移動業

務に関する考察)【入力文書：5/111(JTG)】

入力文書 5/157 (エリクソン他) により、入力文書 5/155 (エリクソン他) と同様な追記提案が行われた。当該提案の扱いは上記⑥の扱いと同様とする(指摘内容を SG5 の Summary Record に記載、及び新報告案本体への修正はなし) ことにし、それ以外のコメントはなく、承認された。

- ⑧ 新報告案 RA.[RAS-IMT] (608-614 MHz, 1 330-1 400 MHz, 1 400-1 427 MHz, 1 610.6-1 613.8 MHz, 1 660-1 670 MHz, 2 690-2 700 MHz, 4 800-4 990 MHz 及び 4 990-5 000 MHz における電波天文業務と IMT システムとの共用検討)【入力文書：5/113(JTG)】

入力文書 5/158 (AT&T 他) により、入力文書 5/155 (エリクソン他) と同様な追記提案が行われた。当該提案の扱いは上記⑥の扱いと同様とする(指摘内容を SG5 の Summary Record に記載、及び新報告案本体への修正はなし) ことにし、それ以外のコメントはなく、承認された。

- ⑨ 新報告案 SA.[METSAT-IMT 1.7 GHz] (1 695-1 710MHz における気象衛星システムと IMT 無線局との共用検討)【入力文書：5/116(JTG)】

特にコメントはなく、承認された。

- ⑩ 新報告案 SA.[EESS-IMT 2 025-2 290 MHz] (2 025-2 110MHz 及び 2 200-2 290MHz における宇宙研究、宇宙運用及び地球衛星探査業務の宇宙間リンクと IMT システムとの共用検討)【入力文書：5/124(JTG)】

特にコメントはなく、承認された。

以上の 4 つの文書については、Study Group 7 の承認も完了しており、Study Group 5 での承認を持って、ITU-R 報告として発行されることになった(⑦Report ITU-R RS.2336、⑧Report ITU-R RA.2332、⑨Report ITU-R SA.2339、⑩Report ITU-R SA.2325)。

Study Group 4 と 5 が共同で所掌する文書

- ⑪ 新報告案[FSS-IMT C-BAND UPLINK] (5 850-6 425MHz における IMT システムと固定衛星業務ネットワークとの共用検討)【入力文書：5/123(JTG)】

入力文書 5/154 (モトローラ他) により、入力文書 5/155 (エリクソン他) と同様な追記提案が行われた。当該提案の扱いは上記⑥の扱いと同様とする(指摘内容を SG5 の Summary Record に記載、及び新報告案本体への修正はなし) ことにし、それ以外のコメントはなく、承認された。

- ⑫ 新報告案[FSS-IMT C-BAND DOWNLINK] (WRC-15 に向けた研究会期における 3 400-4 200MHz 及び 4 500-4 800MHz における IMT システムと固定衛星業務の静止衛星ネットワークとの共用検討)【入力文書：5/126(Rev.1)(JTG)】

入力文書 5/147 (インテル他) により、入力文書 5/155 (エリクソン他) と同様な追記提案が行われた。当該提案の扱いは上記⑥の扱いと同様とする(指摘内容を SG5 の Summary Record に記載、及び新報告案本体への修正はなし) ことにし、それ以外のコメントはなく、承認された。

以上の 2 つの文書については、Study Group 4 の承認も必要であり、Study Group 5 の審議結果をリエゾン文書で伝えることにした。併せて、本新報告案を S シリーズとすることで問題ない旨の SG5 の見解を含めることにした。

Study Group 5 と 6 が共同で所掌する文書

- ⑬ 新報告案 BT.[MBB_DTTB_470_694] (470-694/698MHz におけるデジタルテレビ放送と IMT を含めた地上系モバイルブロードバンドアプリケーションとの共用検討)

【入力文書：5/112(JTG)】

入力文書 5/142（米国）により、本新報告案の一部の検討に懸念があり、今回の SG5 で承認を行うことへの反対が示された。また入力文書 5/157（Qualcomm 他）により、入力文書 5/155（エリクソン他）と同様な追記提案が行われた。UAE 及び Qualcomm が米国の意見を支持したが、ロシアや NDR は米国の分析結果に疑問を示し、承認すべきとした。また、英国やフランスも承認を支持した。SG5 議長より、米国の懸念を Summary Record に記載しつつ本報告案を承認する收拾案が示されたが、米国が報告本体に「米国が承認に反対していること」等を脚注に記載する対応を希望し、特に反対意見が示されなかったため、米国提案の対応とすることになった。また、米国に同調する主管庁がいるか確認されたが、その他の主管庁からの意思表示はなかった。米国は反対理由の詳細を別に Summary record にも記載することを求め了承された。さらに、5/157 の扱いは上記⑥の扱いと同様とする（指摘内容を SG5 の Summary Record に記載、及び新報告案本体への修正はなし）ことにした。以上の対応を持って、承認された。

- ⑭ 新報告案 BT.[SAB_SAP]（第一地域における SAB/SAP の周波数利用と 694-790MHz における移動業務への一次分配について）【入力文書：5/115(JTG)】
特にコメントはなく、承認された。
- ⑮ 新報告案 BT.[IMT_DTTB_694-790-CO-CHANNEL]（GE-06 エリアでの 694-790MHz における地上デジタル放送と IMT との同一チャネルの共用検討）【入力文書：5/118(Rev.1)(JTG)】
特にコメントはなく、承認された。
- ⑯ 新報告案 BS.[BS-IMT]（1 452-1 492MHz における移動業務と放送業務の共用検討）【入力文書：5/119(Rev.1)(JTG)】
特にコメントはなく、承認された。

以上の 4 つの文書については、Study Group 6 の承認も必要であり、Study Group 5 の審議結果をリエゾン文書で伝えることにした。

JTG で作成された ITU-R 報告の将来の改訂手続きについて

WP5D 議長から、今回承認された ITU-R 報告について、将来的に改訂提案が出された場合にどのように扱うべきかの問題提起がなされ、議論となった。SG5 議長からは、作成された ITU-R 報告について、関連 Study Group の所掌になるとの見解が示され、ジンバブエやカナダが同じ見解であることを表明した。一方、ロシアからは、JTG が CPM15-1 の決定で設立された経緯を踏まえ、CPM が改めて担当 Study Group/Working Party を指定するか、RA-15 で同様の議論を行い、その結果を待つべきとの見解が示された。JTG 議長は、CPM15-2 での議論の可能性について理解を示した。その結果、SG5 議長からは、CPM15-2 に対して今後の改訂の手続きの見解を求める入力文書を提出する用意があるとの意見が示された。

しかしながら最終的に、セクレタリ（BR）からの見解として、「JTG から提出された出力は、関連 Study Group で承認された時点で ITU-R 報告となり、改訂を行う場合には他の ITU-R 報告と同様に、関連 Study Group 及びその傘下の Working Party で改訂を行うというのが既存の手続き。本手続きが変更されるとすれば、RA-15 での議論を踏まえてからである」、と説明された。本説明を持って、SG5 議長より、「JTG で作成された ITU-R 報告の将来の改訂手続きが明確となった」、ことが述べられた。

3 今後の予定

2015年のミーティングスケジュールは次のとおり。

日程		会合名	場所
27 Jan 2015	4 Feb 2015	WP 5D	New Zealand
10 June 2015	18 June 2015	WP 5D	United States [San Diego, California]
6 July 2015	17 July 2015	WP 5A, WP 5B, WP 5C	Romania
20 July 2015	21 July 2015	SG 5	Geneva

参考資料 1 SG5 入力文書一覧表

文書番号	提出元	タイトル
5/97 (Rev.1)	Chairman, SG 5	Summary Record of the eighth meeting of Study Group 5 (2-3 December 2013)
5/98	Director, BR	Reply to Study Group 5 Chairman's note regarding oceanographic radars
5/99	WP 5D	Liaison statement to ITU-T FG Innovation, TSAG and Study Group 17 (copy for information to ITU-R Study Group 5, Working Parties 5A, 5B and 5C) - New standardization activities for the International Telecommunication Union - Standardization Sector (ITU-T)
5/100	WP 5D	Draft revision of Report ITU-R M.2039-2 - Characteristics of terrestrial IMT-2000 systems for frequency sharing/interference analyses
5/101	ITU-T FG Innovation	FG Bridging the Gap from Innovation to Standards (FG Innovation) - Liaison statement on New Standardization Activities for ITU-T Study Groups and ICT Innovation Panel [to all ITU-T Study Groups, ITU-D Study Groups and ITU-R Study Groups]
5/102	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.[ANT ROT] - Antenna rotation variability and effects on antenna coupling for radar interference analysis
5/103	WP 5A	Liaison statement to ITU-T FG Innovation, TSAG and Study Group 17 (copy for information to ITU-R Study Group 5, Working Parties 5B, 5C and 5D) - New standardization activities for the International Telecommunication Union - Standardization Sector (ITU-T)
5/104	WP 5A	Draft revision of Report ITU-R M.2227 - Multiple Gigabit Wireless Systems in frequencies around 60 GHz
5/105	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2003 - Multiple Gigabit Wireless Systems in frequencies around 60 GHz
5/106	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1638 - Characteristics of and protection criteria for sharing studies for radiolocation aeronautical radionavigation and meteorological radars operating in the frequency bands between 5 250 and 5 850 MHz
5/107	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1827
5/108	WP 5D	Draft new Recommendation IUT-R M.[IMT.OOBE BS] - Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-Advanced
5/109	WP 5D	Draft new Recommendation ITU-R M.[IMT.OOBE MS] - Generic unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-Advanced
5/110	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1579-1 - Global circulation of IMT-2000 terrestrial terminals
5/111	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R RS.[EESS-IMT 1.4 GHz] - Consideration of the frequency bands 1 375-1 400 MHz and 1 427-1 452 MHz for the mobile service - Compatibility with systems of the Earth exploration-satellite service (EESS) within the 1 400-1 427 MHz frequency band

文書番号	提出元	タイトル
5/112	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R BT.[MBB_DTTB_470_694] - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz
5/113	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R RA.[RAS-IMT] - Compatibility and sharing studies between the radio astronomy service and IMT systems in the frequency bands 608-614 MHz, 1 330-1 400 MHz, 1 400-1 427 MHz, 1 610.6-1 613.8 MHz, 1 660-1 670 MHz, 2 690-2 700 MHz, 4 800-4 990 MHz and 4 990-5 000 MHz
5/114	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R F.[IMT-FS 470-694/698 MHz SHARING] - Sharing and compatibility between international mobile telecommunication systems and fixed service systems in the 470-694/698 MHz frequency range
5/115	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R BT.[SAB_SAP] - Services ancillary to broadcasting/services ancillary to programme making spectrum use in Region 1 and the implication of a co-primary allocation for the mobile service in the frequency band 694-790 MHz
5/116	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R SA.[METSAT-IMT 1.7 GHz] - Sharing assessment between meteorological satellite systems and IMT stations in the 1 695-1 710 MHz frequency band
5/117	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R F.[FS-IMT 1 350-1 530 MHz CO-CHANNEL SHARING] - Sharing and compatibility study between international mobile telecommunication and the fixed service
5/118 (Rev.1)	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R BT.[IMT_DTTB_694-790-CO-CHANNEL] - Co-channel sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and international mobile telecommunication in the frequency band 694-790 MHz in the GE06 planning area
5/119 (Rev.1)	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R BS.[BS-IMT] - Sharing between the mobile service and the broadcasting service in the 1 452-1 492 MHz frequency band
5/120	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R F.[IMT-FS 3 400-4 200 MHz SHARING] - Sharing and compatibility between international mobile telecommunication systems and fixed service systems in the 3 400-4 200 MHz frequency range
5/121	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R F.[IMT-FS 4 400-4 990 MHz SHARING AND COMPATIBILITY] - Sharing and compatibility study between International Mobile Telecommunication systems and point-to-point fixed wireless systems in the frequency band 4 400-4 990 MHz
5/122	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R F.[IMT-FS 5 925-6 425 MHz SHARING] - Sharing and compatibility study between indoor International Mobile Telecommunication small cells and fixed service station in the 5 925-6 425 MHz frequency band
5/123	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R [FSS-IMT C-BAND UPLINK] - Sharing and compatibility between International Mobile Telecommunication systems and fixed-satellite service networks in 5 850-6 425 MHz frequency range

文書番号	提出元	タイトル
5/124	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R SA.[EESS-IMT 2 025-2 290 MHz] - Sharing between space-to-space links in space research, space operation and Earth exploration-satellite services and IMT systems in the frequency bands 2 025-2 110 MHz and 2 200-2 290 MHz
5/125 (Rev.1)	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R M.[AMT-IMT.SHARING.L-BAND] - Sharing studies between potential International Mobile Telecommunication systems and aeronautical mobile telemetry systems in the frequency band 1 429-1 535 MHz
5/126 (Rev.1)	JTG 4-5-6-7	Draft new Report ITU-R [FSS-IMT C-BAND DOWNLINK] - Sharing studies between International Mobile Telecommunication-Advanced systems and geostationary satellite networks in the fixed-satellite service in the 3 400-4 200 MHz and 4 500-4 800 MHz frequency bands in the WRC study cycle leading to WRC-15
5/127	Chairman, JTG 4-5-6-7	Executive Report to Study Groups 5 and 6 on the work of Joint Task Group 4-5-6-7
5/128	SG 6	Question ITU-R 45-5/6 - Broadcasting of multimedia and data applications
5/129	SG 4	Proposal on the revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/130	SG 7	Liaison statement to Study Group 5 - Approval of four draft new Reports developed by Joint Task Group 4-5-6-7
5/131	Chairman, SG 5	Note to Chairmen of Study Groups 1, 4 and 6 - Proposal for suppression of Opinion ITU-R 95
5/132	Director, BR	Global flight tracking
5/133	WP 5D	Reply liaison statement to Working Party 4C (copy for information to Working Party 4B and Study Groups 4 and 5) - Revision of Recommendation ITU-R M.1036-4 and coexistence issues between the satellite and terrestrial components of IMT
5/134	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-11 - Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)
5/135	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT.FUTURE TECHNOLOGY TRENDS] - Future technology trends of terrestrial IMT systems
5/136	WP 5D	Liaison statement to ITU-T Study Group 13 (copy for information to ITU-D Study Groups 1 and 2, ITU-T Study Group 15, ITU-R Study Group 5, and ITU-T Working Party 5A) - Roadmap on IMT and new areas for study under IMT
5/137	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT.ANTENNA] - Passive and active antenna systems for base stations of IMT systems

文書番号	提出元	タイトル
5/138	Finland , Denmark , France , Germany (Federal Republic of) , Greece , Netherlands (Kingdom of the) , Portugal , Sweden , Switzerland (Confederation of) , United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Adoption of draft new Recommendation ITU-R M.[BSMS700]
5/139	Russian Federation	Proposals for Study Group 5 actions in regard to JTG 4-5-6-7 Chairman's Report
5/140	Israel (State of)	RF Human hazards - Intersectoral activities
5/141	United States of America	Revision to the note added to the titles of Documents 5/111, 5/112, 5/113, 5/115, 5/116, 5/118R1, 5/119, 5/123, 5/124 and 5/126R1
5/142	United States of America	Concerns with draft new Report ITU-R BT.[MBB_DTTB_470_694] (Document 5/112)
5/143	Cameroon (Republic of) , Lesotho (Kingdom of) , Namibia (Republic of) , Nigeria (Federal Republic of) , South Africa (Republic of) , Swaziland (Kingdom of) , Zimbabwe (Republic of)	Adoption of draft new Recommendation ITU-R M.[BSMS700]

文書番号	提出元	タイトル
5/144	AT&T, Inc. , Bell Mobility , Intel Corporation , Motorola Mobility LLC , Nokia Corporation , Nokia Solutions and Networks Oy , Qualcomm, Inc. , Rogers Communications Partnership , Sprint Corporation , Telefon AB - LM Ericsson , Telefónica, S.A. , TeliaSonera AB	Issues with draft new Report ITU-R BT.[MBB_DTTB_470_694], Document 5/112, sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz
5/145	Bahrain (Kingdom of) , Egypt (Arab Republic of) , United Arab Emirates	Adoption of draft new Recommendation ITU-R M.[BSMS700]
5/146	WP 5A	Draft new Report ITU-R M.[5MHz COMPAT] - Sharing and compatibility analysis of possible amateur service stations with fixed, land mobile, and radiolocation services in the frequency band 5 250-5 450 kHz and the aeronautical mobile service in an adjacent band
5/147	Alcatel-Lucent International , AT&T, Inc. , Intel Corporation , Motorola Mobility LLC , Nokia Corporation , Nokia Solutions and Networks Oy , Qualcomm, Inc. , Sprint Corporation , Telefon AB - LM Ericsson , Telefónica, S.A. , TeliaSonera AB , Telstra Corporation Ltd.	Issues with draft new Report ITU-R [FSS-IMT C-BAND DOWNLINK] Document 5/126 Rev.1 - Sharing studies between IMT-Advanced systems and geostationary satellite networks in the fixed-satellite service in the 3 400-4 200 MHz and 4 500-4 800 MHz frequency bands
5/148	WP 5A	Draft new Recommendation ITU-R M.[MS. 14.5-15.35 GHz] - Characteristics of and protection criteria for systems operating in the mobile service in the frequency range 14.5-15.35 GHz
5/149	WPs 5A and 5D	Reply liaison statement to Joint Coordination Activity on accessibility and human factors (JCA-AHF)

文書番号	提出元	タイトル
5/150	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1824 - System characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the mobile service for use in sharing studies
5/151	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1076 - Wireless communication systems for persons with impaired hearing (Question ITU-R 254/5)
5/152	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1464-1
5/153	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1465-1 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiodetermination service in the frequency range 3 100-3 700 MHz
5/154	AT&T, Inc. , Motorola Mobility LLC , Nokia Corporation , Nokia Solutions & Networks Oy , Qualcomm, Inc. , Sprint Corporation , Telefon AB - LM Ericsson , Telefónica, S.A. , TeliaSonera AB	Assumptions in draft new Report ITU-R [FSS-IMT C-BAND UPLINK] , Document 5/123 "Sharing and compatibility between International Telecommunication system and fixed-satellite service networks in 5 850-6 425 MHz frequency range"
5/155	AT&T, Inc. , Nokia Corporation , Nokia Solutions and Networks Oy , Sprint Corporation , Telefon AB - LM Ericsson , Telefónica, S.A. , TeliaSonera AB , Telstra Corporation Ltd.	Issues with draft new Report ITU-R M.[AMT-IMT-SHARING.L-BAND] - Document 5/125 Rev1 - Sharing studies between potential IMT systems and aeronautical mobile telemetry systems in the frequency band 1 429-1 535 MHz
5/156	Norddeutscher Rundfunk (NDR) , Zweites Deutsches Fernsehen (ZDF)	700 MHz IMT terminal station unwanted emissions

文書番号	提出元	タイトル
5/157	AT&T, Inc. , Nokia Corporation , Nokia Solutions and Networks Oy , Sprint Corporation , Telefon AB - LM Ericsson , Telefónica, S.A. , TeliaSonera AB , Telstra Corporation Ltd.	Issues with draft new Report ITU-R RS.[EESS-IMT 1.4 GHz], Document 5/111 - Consideration of the frequency bands 1 375-1 400 MHz and 1 427-1 452 MHz for the mobile service - Compatibility with systems of the Earth exploration-satellite service (EESS) within the 1 400-1 427 MHz frequency band
5/158	AT&T, Inc. , Nokia Corporation , Nokia Solutions and Networks Oy , Sprint Corporation , Telefon AB - LM Ericsson , Telefónica, S.A. , TeliaSonera AB , Telstra Corporation Ltd.	Draft new Report ITU-R RA.[RAS-IMT] Document 5/113 - Compatibility and sharing studies between the radio astronomy service and IMT systems in the frequency bands 608-614 MHz, 1 330-1 400 MHz, 1 400-1 427 MHz, 1 610.6-1 613.8 MHz, 1 660-1 670 MHz, 2 690-2 700 MHz, 4 800-4 990 MHz and 4 990-5 000 MHz
5/159	France , Germany (Federal Republic of) , Luxembourg , Netherlands (Kingdom of the) , United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Approval of draft new Reports agreed by the Joint Task Group 4-5-6-7
5/160	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1463-2
5/161	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1460-1
5/162 (Rev.1)	Chairman, WP 5D	Executive Report from Working Party 5D
5/163	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[AUTOMOTIVE RADARS] - Systems characteristics and compatibility of automotive radars operating in the frequency band 77.5-78 GHz for sharing studies
5/164	WP 5C	Draft new Question ITU-R [PERFORM]/5 - Performance and availability objectives and requirements for fixed wireless systems, including packet-based systems
5/165	WP 5C	Editorial update to Recommendation ITU-R F.1703 - Availability objectives for real digital fixed wireless links used in 27500 km hypothetical reference paths and connections
5/166	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1778 - Channel access requirements for HF adaptive systems in the fixed and land mobile services

文書番号	提出元	タイトル
5/167	WP 5C	Draft new Report ITU-R F.[FS USE-TRENDS] - Fixed service use and future trends
5/168	WP 5B	Draft note for Chairman ITU-R Study Group 5 to the Director of Radiocommunication Bureau- Editorial correction of Recommendation ITU-R M.1371-5 - Technical characteristics for an automatic identification system using time division multiple access in the VHF maritime mobile band
5/169	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[OR GUIDE] - Guidelines for the use of spectrum by oceanographic radars in the frequency range 3 to 50 MHz
5/170	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1174-2 - Technical characteristics of equipment used for on-board vessel communications in the bands between 450 and 470 MHz
5/171	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[WAIC_SHARING_4 200-4 400 MHZ] - Compatibility analysis between wireless avionics intra-communication systems and systems in the existing services in the frequency band 4 200-4 400 MHz
5/172	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[WAIC BANDS] - Consideration of the aeronautical mobile (route), aeronautical mobile, and aeronautical radionavigation services allocations to accommodate wireless avionics intra-communication
5/173	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[CHANNEL SOUNDING] - VHF data exchange system channel sounding campaign
5/174	WP 5B	Draft revision of Report ITU-R M.2231 - Use of Appendix 18 to the Radio Regulations for the maritime mobile service
5/175	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.690-2 - Technical characteristics of EPIRBs operating on the carrier frequencies 121.5 MHz and 243 MHz
5/176	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.585-6 - Assignment and use of identities in the maritime mobile service
5/177	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2009 - Radio interface standards for use by public protection and disaster relief operations in some parts of the UHF band in accordance with Resolution 646 (Rev.WRC-12)
5/178	WP 5A	Draft new Report ITU-R M.[LMS.CRS2] - Cognitive radio systems (CRSs) in the land mobile service
5/179	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2015 - Frequency arrangements for public protection and disaster relief radiocommunication systems in UHF bands in accordance with Resolution 646 (Rev.WRC-12)
5/180	Chairman, WP 5A	Executive Report of the thirteenth and fourteenth meetings of Working Party 5A
5/181	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[OOB S-BAND] - Assessment of interference to radars operating within the 2 700-2 900 MHz band from broadband wireless systems operating in adjacent frequency bands
5/182	Chairman, WP 5C	Executive Report on the thirteenth and fourteenth meetings of Working Party 5C
5/183	Chairman, WP 5B	Executive Report on the thirteenth and fourteenth meetings of Working Party 5B

文書番号	提出元	タイトル
5/184	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.[WAIC] - Technical characteristics and protection criteria for Wireless Avionics Intra-Communication systems
5/185	BR Study Group Department	List of documents issued (Documents 5/97 - 5/184)

参考資料2 勧告文書の承認プロセス

